

令和はじめての新年を迎えました。昨年は、公明党下京支部として、2つの署名運動に取り組み、多くの皆様にご賛同いただきました。ご協力いただきました皆様に心より御礼申し上げます。

本年も公明党の持ち味『小さな声を、聴く力』をいかに発揮し、地方から国政にいたる公明党のネットワーク力で下京区内のあらゆる課題解決に向け全力を尽くしてまいります。今後とも温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

公明党下京支部長 西山 のぶまさ

堀川五条交差点の改良を求める署名を国土交通大臣に提出

令和元年8月28日、『堀川五条交差点を人にやさしく誰もが安心して安全に利用出来るよう改良を求める署名』5,007筆を竹内譲衆議院議員同行のもと、石井啓一国土交通大臣(当時)宛に提出しました(稲井康弘京都国道事務所長対応)。席上、西山支部長らは住民の切実な声を伝え、稲井所長は、府・京都市と共に検討を進める必要性に言及しました。



〈署名要望項目〉

1. 人にやさしく誰もが安心・安全に利便性高く利用できるようバリアフリー化を図ってください。
2. 自転車が安心して安全に利用できるよう対策を講じてください。

〈堀川五条交差点の課題〉

- 高齢者などが歩道橋の階段を使うのが大変
- 自転車で車道を走ると危険
- 遠回りするのも大変(北側へは約230m)

公明党下京支部のこれまでの取組



平成31年1月:現地視察(竹内譲衆議院議員、国道事務所と)



平成31年2月:京都市会で西山のぶまさ支部長が代表質疑

認知症総合支援センターの開設を求める署名を 京都市長に提出!!

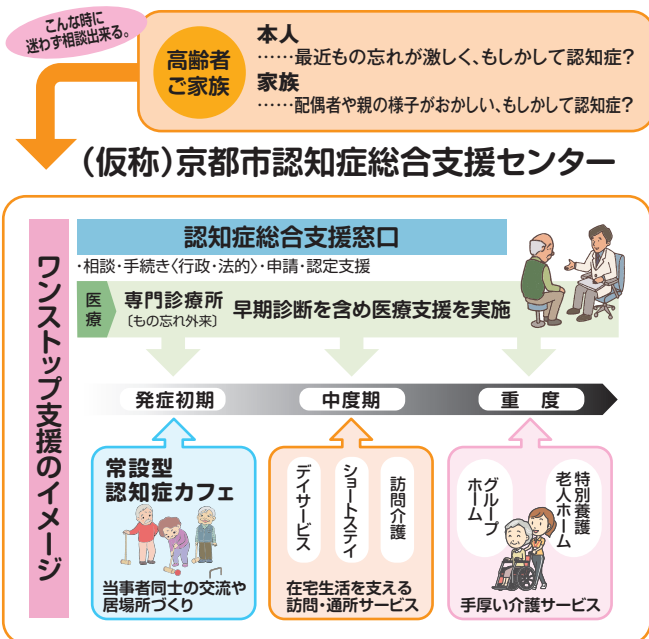
令和元年9月19日、『(仮称)認知症総合支援センターを京都市に開設を求める署名』5,009筆を門川大作京都市長宛に提出しました(村上圭子副市長対応)。席上、西山支部長らは、「認知症初期から重度まで、なじみのスタッフから支援を受けることが安心につながる」と強調。村上副市長からは、「これからは、認知症の方を地域全体、社会全体で支える仕組みも重要となる。この署名で訴えていただいたこと自体、そのような社会をつくる原動力となる」などと応じました。



署名要望項目

1. 認知症を総合的に支援する(仮称)認知症総合支援センターを開設してください。
2. 総合センターは医療・介護・手続き等をワンストップで行える施設としてください。
3. 総合センターでは認知症の方に対する総合的な相談窓口を開設してください。

イメージ図



なんでもお聞かせください。

個人のこと・地域の課題・政策(市・府・国)へのご提案…
公明党の議員と連携して解決に向け全力を尽くします。

公明党下京支部長 西山のぶまさ
(前京都市会議員)

TEL090-1446-2699

